

# ホテルパコ釧路

Hotel Paco Kushiro  
(北海道釧路市)



外観

仕事で釧路に来ることが多く、釧路で大浴場があるホテルを精力的に紹介している。今回紹介するのは、フィッシャーマンズワーフの近くにあつて、温泉を備えるホテルパコである。

ホテルパコは、釧路のホテルにしては珍しく日帰り入浴が可能である。日帰り客は専用のエレベーターで12階の温泉受付まで直行できる。宿泊客はホテル内のエレベーターで12階へ。必ず客室のカギを持参しよう。温泉の受付前で靴を脱ぎ、下駄箱に履物を入れ、下駄箱のカギ(と宿泊者は客室のカギ)を受付に手渡すとロッカーのカギと交換してくれる。

温泉の施設は12階が受付になっているだけで、男湯の脱衣室は11階、女湯の脱衣室は9階になっている。他に食事や休憩のできるラウンジが7階にある。これらの施設すべてが、温泉専用のエレベーターもしくは階段で往来できる造りだ。

脱衣室には無料で利用できる貴重品ロッカーがある。通常のロッカーは日帰り客用が68個、宿泊客用が84個もある。貴重品のロッカーが必要になることはないのではと思える量である。洗面台、ドライヤー等のアメニティーも完備している。

浴室は手前が洗い場、奥が浴槽だ。洗い場は3か所に分かれていて全部で19か所。シャンプー、リンス、ボディソープは完備している。他にシャワーブースも2か所ある。

浴槽は高温と中温の2つの大風呂と足湯、泡風呂がある。高温大風呂は41~43℃の範囲で温度計は41℃示している。中温大風呂は38~40℃の範囲で温度計は39.5℃を示している。あまり大差はない。中温大風呂は長湯ができて快適だ。足湯は39.5℃を示しており、定員

は 3~4 名ほど。泡風呂はいわゆる寝風呂のような形状で、4 人の定員だ。湯温は 39.5℃。ステンレスの冷枕が冷たくて気持ち良い。

露天風呂は 12 階にある。階段を上がっていくと水風呂とサウナがあり、その外が露天風呂だ。釧路の真冬は寒い。今日の外気温度はマイナス 5℃くらいだろうか。寒さに悲鳴を上げながら浴槽に入る。湯温は 40.5℃。適温だ。露天風呂には大きなテレビがあり、退屈しない。これはここに長時間滞在してもよいということなのだ。露天風呂には 3 人分の寝風呂もある。水深は約 5cm。これでは寒い外気をもろに浴びてしまう。残念ながら、私にはその勇気はない。寝風呂側にも小さいテレビがある。

サウナは定員 15 人ほどで、室内温度は 84℃。こちらにもテレビが具備されている。水風呂は恐ろしく冷たく、水温 5℃以下だろう。

ちなみにホテルパコの湯はカルシウム・ナトリウム塩化物泉（高張性弱アルカリ性低温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、打ち身、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、切り傷、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病に効くという。

温泉にはアカスリ、マッサージ、エステもある。これほど充実した温泉とサービスを備えたホテルは珍しい。釧路で疲れを癒したいならホテルパコへ宿泊するべきだ。

- **名称**：ホテルパコ釧路
- **所在地**：北海道釧路市末広町 2 丁目
- **電話**：ホテル 0154-23-8585、温泉 0154-32-1126
- **営業時間**：宿泊者は 12：00~翌朝 9：00、日帰り入浴は 12：00~27：00（最終受付 25：30）
- **定休日**：無休
- **入浴料**：大人 720 円、小学生 410 円（宿泊者は無料）
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：あり
- **取材日**：2016 年 2 月 16 日（火）
- **取材**：銭湯愛好会東京支部